レスリング・内閣総理大臣杯全日本大学選手権

江藤、鈴木、荒木田が3位

74kg級　84kg級　120kg級

内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権（フリースタイルのみ）が11月15、16の両日、新潟県の白根カルチャーセンターで開催された。74kg級の江藤公洋（経営2・福島高）、84kg級の鈴木聖二（経営2・岐阜工高）、120kg級の荒木田進謙（経済3・光星学院高）の3人がそれぞれ3位入賞を果たした。鈴木は準決勝で敗れたが、3位決定戦でフォール勝ち。江藤、荒木田は共に初戦で敗れたが、敗者復活戦で実力を発揮した。

3選手は「初めて大きな大会で入賞できうれしいが、もっと良い結果を残したかった」（鈴木）、「成績を残せて一安心。敗者復活戦から体が動くようになった」（江藤）、「調子は良かったが、勝ちにこだわりすぎて守りに入った。今後はチャレンジャーの気持ちで、自分のレスリングを試したい」（荒木田）と語った。また60kg級の笠井健士（経済2・北越高）も5位入賞を果たし、大学対抗では5位となった。（庄司　亮介・文2）

スピードスケート・真駒内選抜競技大会

道下5000メートル優勝、1万メートル2位

苫小牧ハイランド競技会　1000メートルで今野優勝

真駒内選抜スピードスケート競技会が11月29、30の両日、北海道の真駒内屋外競技場で開催された。道下雅史（経営4・白樺学園高）が男子5000㍍を6分51秒61で優勝し、1万㍍でも2位に入る活躍を見せた。

「優勝できてうれしい。力まず、楽な気持ちでレースに臨めたので、積極的な滑りができた。1万㍍は1位とあまり差がなかったので、もっと早い段階で勝負にいけばよかった」と振り返った。

また、1500㍍で今野陽太（経営4・白樺学園高）が、3000㍍で小野泰幸（経営3・白樺学園高）が、5000㍍で佐山敏幸（経営3・池田高）が4位に入賞した。

◇

苫小牧ハイランド競技会（11月21～23日、苫小牧ハイランドスポーツセンター）では、1000㍍で今野が1分14秒78で優勝した。「得意の3000㍍では思うような結果が出せなかったが、この優勝を今後につなげたい」と話した。（佐山　竜太・経済2）

テニス・全日本選手権

相羽・小沢ペア　ベスト16

▶大学生活最後の試合で躍動する相羽

全日本テニス選手権が11月9日から16日まで、東京都・有明テニスの森で行われ、女子ダブルスで相羽望（文4・秀明英光高）・小沢槙穂（エールプロジェクト）ペアがベスト16入りを果たした。

7月の東海中日選手権を制し、本選から出場したが、準々決勝で今大会優勝のクルム伊達公子・藤原里華ペアに敗れた。相羽は「試合前にねんざし、不安だったが自分らしいテニスで最後までコートに立つことができた。大学最後の試合で伊達さんと戦えたのは名誉なこと」と振り返った。（菅原　亜美・文1）

アメフト・関東大学リーグ戦〈1部Aブロック〉

グリーンマシーン3位

関東大学アメリカンフットボールリーグ戦が、11月23日まで行われ、専大グリーンマシーンは1部Aブロックで4勝3敗の3位となった。

平野恭雄監督は「戦える力はついたが、上位校には厳しかった。来年はさらにチームの完成度を高め、上を目指す」と語った。片山真明主将（法4・日体荏原高）は「序盤は勝てる試合を落とすなど不安定だったが、後半は取りこぼしがなかった」と話し、司令塔・村井和磨（経営4・崇徳高）は「一番良いシーズンとなった。良い形で終われた」と4年間を振り返った。（新海　城生・経済4）

サッカー・関東大学リーグ戦

若手主体で大健闘6位　渡部がベストイレブン

関東大学サッカーリーグ戦が終了、9勝8敗5分・勝ち点32で6位（12チーム中）。4位までに与えられる全日本大学選手権の出場権には届かなかったが、「勝ち点30」の目標をクリア。個人でもベストイレブンに渡部博文（経済3・山形中央高）が選ばれるなど、充実した1年となった。

源平貴久監督は「早い段階で1部のレベルに慣れたことが大きかった。失点が少なかったことも評価できる。来期も今期を上回る順位を目指す」と語った。内村慧主将（経済4・与野高）は「皆が力を出して頑張り、勝ち点30を達成でき、うれしい。来期はタイトルを目指してほしい」と後輩にエールを送った。（馬場　雄也・ネット情報2）

ラグビー・関東大学リーグ戦〈2部〉

2位で1部復帰に望み

関東大学ラグビーリーグ戦（2部）が11月24日まで、日大稲城グラウンドほかで行われ、専大は6勝1敗・勝ち点25で立正大、埼玉工大と並んだが、当該対戦の得失点差で2位となった。この結果、1部7位の拓殖大との入れ替え戦（12月13日、熊谷ラグビー場）に進出。7年ぶりの1部復帰に期待がかかる。（山中　克浩・経済1）

記録コーナー

◇アイスホッケー部
▽関東大学リーグ戦（9月23日～11月30日、東京・ダイドードリンコアイスアリーナ＝ディビジョン1Bリーグ）7勝1分2敗＝2位
※入れ替え戦は中大に連敗し、Bリーグ残留。

◇アーチェリー部
▽関東学生新人選手権（11月5～7日、東京・駒沢第一球技場）【未経験者の部】加藤脩平（商1・神大附属高）＝優勝

◇卓球部
▽会長杯争奪卓球大会（11月6、7日、東京・駒沢屋内球技場）【男子S】星野和洋（法3・木更津総合高）＝優勝【女子S】小林春菜（文3・新潟青陵高）＝優勝【男子D】加藤充生樹（商3・日大三島高）・森門聡（商2・柳川高）組＝優勝

◇バドミントン部
▽関東学生新人戦（11月6日～12月4日、東京・立川市泉体育館）【女子S】穴井友喜（商2・青森山田高）＝優勝【女子団体】3位

◇レスリング部
▽東日本学生秋季新人戦（11月28～30日、東京・ナショナルトレーニングセンター）【F96kg級】鈴木聖二＝優勝※敢闘賞を受賞。

キャンパス情報

〈ホームページ運営委員会より〉

専大生が好成績　全国大学対抗簿記

11月に行われた秋季簿記大会の団体戦2級の部で計修会Xチームが優勝した。個人戦2級の部では、金子和弘さん（商1）が優勝、梅田宙さん（同）が3位となった。いずれもエクステンションセンターの会計士講座受講生。

〈広報課より〉

「ニュース専修」をご愛読いただきありがとうございます。学生の皆さんに、より親しんでもらえるよう内容を充実させるため、ポータルサイトを利用してアンケートを実施します。ご協力をお願いします。

▽期間＝12月15日から1月15日

問☎03(3265)5819
e-mail koho@acc.senshu-u.ac.jp

漫画研究同好会

水球の「専大カップ」23チームが熱戦

神奈川県ジュニア選手権大会水球競技大会「専大カップ」が11月21～23日、生田キャンパスの総合体育館プールで行われ、小学生から高校生までの23チームが熱戦を繰り広げた＝写真。

生田キャンパスの体育施設で地域貢献

Ｊ１川崎フロンターレに協力

「キッズリーグ」開催

Ｊ１の川崎フロンターレに専大サッカー部が協力し「川崎フロンターレ・専修大学キッズリーグ」を11月30日、生田キャンパス北グラウンドで開催、72チームが参加した＝写真。グラウンドは終日、子供たちの歓声に包まれた。

New Ground　新しい見方 ㉚

小野邊　徹（ネット情報1・ジャーナリズム研究会）

「はじまり」

冬がやってきましたが、寒さも際立ち、皆さんはこの寒さに負けていないでしょうか。私は、急激な温度変化に耐えきれずに風邪をひきました。つらいです。風邪をひかないためにも健康には十分気をつけてください。

さて、今年も残すところあとわずかですね。年末年始にかけてさまざまな行事があり、それを楽しみにしている人は多いかと思います。私は毎年、初日の出を見ることを楽しみにしているのですが、これが意外と大変なのです。初日の出は1年に1度だけなので、絶対に見逃すまいと徹夜で挑んでいるのですが、夜は寒く、眠気にも耐えなければなりません。毎回「年の初めから何をやっているのだろうな…」と心が折れそうになるくらいの過酷な状況の中、日の出を待ちます。しかし、日の出が始まるとそんな些細なことは忘れてしまい、「これから新しい1年間が始まるのか」という思いにさせてくれます。私は、初日の出からまた新たなスタート地点に立って1年間を始めるのです。

初日の出を見るのは、素敵な1年間を過ごすための儀式だと思っています。初日の出を見ながら1年間の目標を決め、そこから1年間を走りきれるような良いスタートダッシュをする、ということを翌年も同じようにできるようにしたいですね。皆さんも来年は初日の出を見ながら目標を決めて、充実した年になるようにしてみてはどうでしょうか。